

学校教育目標	「さわやか笑顔 中田っ子」～ 思い合い ひびきあい 共に生きる力を育てます ～ ○自分らしさを出し合って、共に考え自ら高め合える子どもを育てます。(知) ○自分に自信をもち、互いに認め合い、支え合う子どもを育てます。(徳) ○心身を鍛え、自分や人の命、体を大切にすることを育てます。(体) ○地域のひと・こと・もののかかわりを大切に、地域を愛する子どもを育てます。(公) ○多様性を尊重し、国際社会を実現しようとする子どもを育てます。(開)				
	創立 72 周年	学校長 中村 真弓	副校長 石井 晃	2 学期制	一般学級: 23 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 744 人 主な関係校: 中田中学校・東中田小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <コミュニケーション力>	中田中学校 東中田小学校 中田小学校	○自分で考え、判断する力を育てます。○自分も他者も大切にす る心を育てます。○中田のまちのよさを愛する心を育てます。 ・小中合同授業研究会を通して、指導の連続性を図る。 ・既存の児童生徒交流の場を生かし、3校の交流を促進する。 ・ブロック内専任会を柱に、児童生徒指導についての定期的な情報共有を密に行 う。

中期取組目標	<p>○【授業で勝負】 教員それぞれのキャリアステージで授業力向上をめざし、「わかる楽しい授業設計」に努めます。子どもの「学びに向かう力」を育て、目標に向かって最後までやり遂げる態度を養います。</p> <p>○【どの子にも心の居場所がある学級・学校に】 自分に自信をもち、互いに認め合い支え合う思いやりの気持ちを育てます。</p> <p>○【あいさつを地域に広げよう】 自らの安全・健康を保持、増進する態度を育て、安心・安全な地域づくりへ参画する姿勢を育てます。</p> <p>○様々な情報を活用・選択する力を身につけ、目的に応じて効果的に伝える力を育てます。</p>
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 学力向上	①重点研において、「特別活動」を軸に自分の考えや気持ちを伝え合い、分かり合うためのコミュニケーション力や、他の人の考えや気持ちを想像したり、共感的に理解したりする力の育成に取り組んでいく。②「わかる楽しい授業設計」を進め、児童の心を揺さぶる教材と教師のかかわり方を協働して工夫する。
担当 学力向上部会	
徳 豊かな心	①教育活動全体を通じた道徳教育と人権月間を核とした学年ごと学級ごとの人権教育の推進。人とつながりから学び、自分も他の人も大切にできる人権感覚の育成に向けた取組を工夫して実施し、保護者地域への発信取り組む。②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
担当 豊かな心部会	
体 健やかな体	①家庭と連携し、規則正しい生活を送ろうとする姿勢を養うとともに、食育や保健教育を実施していく。②定期的に運動に関わる活動を取り入れて、楽しく体を動かす機会を設定する。
担当 健やかな体部会	
公開 地域連携	①コロナ後を見据え、各教科・領域で、積極的に学習に協力して下さる地域の方々とは児童とのつながりを整理し、引き続き持続可能な単元開発に努める。②校内では広がりつつあるあいさつの輪を地域にも広げ、安心安全なまちづくりの一助になるような雰囲気づくりをしていく。
担当 総務部	
いじめへの対応	①毎月1回、いじめ防止対策委員会を実施する。各学年の児童の様子を共有し、いじめの未然防止策を立て、学校全体で取り組んでいく。また、認知された案件の経過観察を丁寧に行い、再発防止に努める。 ②「全職員での共通理解」という意識のもとで指導にあたる。打ち合わせや職員会議において共通理解を充実させる。
担当 豊かな心部会	
人材育成・組織運営(働き方)	①学校内外の研究・研修の場へ積極的に参加し互いに情報を共有し、学年を中心とした協働での授業づくりを通して、授業力の向上を図る。②職員それぞれのキャリアステージに合わせたOJTにより、教師力を高める。③より円滑な業務を進めるために、教職員一人一人が働き方改革への意識を持ち、業務の精選や改善を行っていく。
担当 総務部	
情報活用能力育成	①ロイノート、Googleクラスルームの活用を計画的に行う。情報教育全体計画を策定し、学年暦を使ってどのスキルをどの教科単元で指導するのか教育課程に組み込んでいく。特に情報モラルについて重点的に取り組む。ICTニュースを保護者や地域向けに発行し活用状況を広報していく。②校務のデジタル化をさらに進め、今後を見据えた働き方改革の推進に寄与していく。
担当 情報教育部会	
特別支援教育	①全ての児童にとって分かる楽しい授業、そして、心の居場所となる学級を目指して職員間で情報共有し、ユニバーサルデザインの授業と集団づくりに取り組んでいく。また、特別支援教育相談を実施し、保護者と共通理解のもと、特別支援教育における環境整備を行い特別支援教室の充実を図る。②ケース会議を適宜開催し、個別の教育支援計画、指導計画の活用を充実させる。
担当 豊かな心部会	
児童指導	①日々の見取りに加え、Y-Pや学校生活アンケートの結果などを関係職員で情報共有し、適切な指導の検証に努める。また、複数指導体制の工夫と日常化を図り、全職員で情報を共有できる場を設定していく。②中田小学校スタンダードをもとに、共通した指導を行い、児童・保護者が安心できる環境をつくる。
担当 豊かな心部会	
学校運営協議会 地域学校協働本部	①年間4回の学校運営協議会で、地域の方々から学校経営方針の承認を得ながら、地域と共に学校を作り上げる素地を形成していく。②これまでコロナ禍で開催を見合わせていた、地域学校協働本部主催の行事を行い、地域の方々との緩やかなネットワークを構築していく。また、地域の人脈を有効活用できるようにコーディネーターとの連携を図る。
担当 総務部	